



社会福祉法人友愛学園  
広報誌 VOL 24

発行日 平成27年12月15日  
 発行人 社会福祉法人 友愛学園  
 〒198-0001 東京都青梅市成木2-107  
 電話 0428-74-5453  
 FAX 0428-74-6906  
<http://www.yuaigakuen.or.jp/>

題字 学園創始者元理事長故実川 博氏書

## 特集 グループホームやまなみ開所

友愛学園のグループホームの紹介・将来展望

### 成木の梅の木

友愛学園の理事でもあり、学園所在地の成木二丁目自治会長も歴任された木崎様にご寄稿いただきました。

ウメの木の原産は中国で、弥生時代の遺跡からウメの遺物が出土しています。万葉集四五〇〇の歌の内、ウメに関する歌は一二〇首と多くあり（ハギは一四〇首と多クあります。）、さくらの四〇首と比べてもウメは古くから日本人に親しまれ愛されてきました。今はさくらの花見が各地で行われて、酒宴でにぎわっておりますが、ウメ見に関しては花と香りを静かに楽しんでるようです。花ウメと果実ウメとあります。果実ウメはできれば二本植えたいところですが、受粉の関係でしようか。さくらには切りませんが、ウメに関しては剪定をして木を若く保つことが大切だそうです。剪定期は十一月下旬〜一月、毎年行うことが木の形を保つ唯一の方法です。

剪定方法には、徒長枝と立枝を切ると書いてあります。詳しいことは知りませんが、私の場合、松の木形になるように仕立てています。黒星病、アブラ虫、カイガラ虫等病原菌が発生することがあります。梅の里にはみられません。成木には沢山のウメの花が咲きますが、安楽寺のしだれ梅は花火の大輪のごとくそれは、それは見事です。樹齢一千年の大杉、その東門の側にしだれ紅梅があり、ピンクの花束がまるで滝が流れるような淡い光景が見る人の感動を呼んでいます。



春にはウメ、モモ、さくらが咲き競うように乱舞しており、多くの見物客がカメラで撮る影、またスケッチブックで絵を楽しんだり、昼食時には弁当を広げ、歓談をしております。（お酒は禁止です。）地域の人の散歩コースにもなっておりましてあります。皆さまも、是非一度出かけ見てはいかがでしょうか。今回、グループホーム「やまなみ」の開設、大変おめでとうございます。地形的にも、また環境も地域性も、成木と似通った風景であるように、ご利用者様も、風光明媚な地で安心してのびのびと生活できることと思っております。今回、寄稿を願ったこと、ありがとうございました。ありがとうございます、難しいことは書けませんが、身近な事をありのまま書かせていただきました。友愛学園の益々の発展と、関係者の皆さまのご健勝を祈念します。

成木二丁目  
木崎樹也

### 渋谷エリア

- はあとびあ原宿  
渋谷区社会福祉協議会
- 施設入所支援
  - 生活介護
  - 短期入所
  - 児童発達支援
  - 障害者就業・生活支援
  - 日中一時支援

### 青梅エリア

- 法人事業一覧
- 児童部
    - 障害児入所支援
    - 短期入所
  - とことこ
    - 放課後児童デイサービス
  - 成人部
    - 施設入所支援
    - 生活介護
    - 短期入所
  - おおぞら
    - 指定一級相談支援
    - 指定特定相談支援
    - 障害児相談支援
  - ◆すてっぷ小中尾「とも」
    - 共同生活援助
  - 青梅福祉作業所
    - 技術習得支援B型
    - 就労移行支援
    - 自立訓練（生活訓練）
  - 就労支援センター（受託事業）
    - 青梅市条例に基づく公益事業

## 友愛こどもクラブとことこ

### 三年を迎えて

平成二十四年に児童の入所施設が障害者自立支援法から児童福祉法へ根拠法が戻されました。それに合わせ、児童部での日中預かり事業も、それまでの地域支援事業であった日中一時支援から、より児童に特化した形で支援を行いたいという思いなどから、放課後等デイサービスへ移行することとし、現在にいたっています。

### 利用実績が一八二七日に倍増

当初は、従来の日中一時支援の児童をそのまま引き継いだ形であったため、登録者数は、四十二名程度で年間の延べ支援日数も八六七日程度でした。それが、三年目を迎えた現在、登録者数も八十名を優に超え利用実績も一八二七日とわずか三年の間で倍以上の子どもの支援を行うようになりました。

### 青梅市内の療育手帳保持者の急増

この背景には、さまざまな要因が考えられますが、その一つとして、地域事情が上げられます。施設が所在する青梅市の知的障害者数の推移を見ても、ここ五年間で療育手帳の保持者数が十八%増と約二十%近い増加率であり、その内訳も療育手帳四度(軽度)が圧倒的に増加率を伸ばしています。もちろん、この数字自体は児童ばかり

のものではありませんが、手帳保持する方の増加イコール、サービスを利用したい方の増加ということが言えるのではないのでしょうか。もう一つは、制度によるサービスの使いやすさです。制度上、障害児であることにとらわれずに障害が想定され支援の必要性を行政が認めれば誰でもサービスを利用することができます。

青梅市の障害福祉計画(第四期)でも「民間事業者の活用によりサービスの向上と提供体制の充実」が謳われている通り、さまざまな障害を持つ子ども達を対象とした受入れ形態、サービス内容を提供する事業所が新設されています。

私たちも日中一時支援サービスの頃を振り返れば、年齢や障害の程度もばらばらな子ども達を一同一体で支援していた状況にありました。現在ご家族が自分の子どもに合ったサービス内容、事業所を選べるようになったことで、いわゆる福祉サービスが使いやすいくなり、利用に際して敷居が下がったことにつながったのではないのでしょうか。

まだわずか三年という未成熟な事業所であることは確かです。日々多くの解決すべき課題に直面しています。近隣地域事業者との連携を図りながら、地域の子育て支援の一端を担うまでのサービスへと変わっていきけるような土壌づくりが求められます。

(副施設長 石川 淳)

## 成人部

### 体験ワークショップ

九月二十日、青梅市役所で開催された「おうちちゃんフェスタ」に参加しました。

作品展示販売で、陶器や和紙、藍染などを置かせていただきました。

今回は、いつもの作品展示販売に加え、和紙作り体験ワークショップを行いました。

徐々に要領をつかみ、時間を忘れて、皆さん夢中で叩いていました。現在は、機械を使う作業ですが、紙を作る大変さ、楽しさを体験していただけたと思います。

### 工房開放

前年度から、成人部では、たくさんの方に陶器作りや和紙作りを体験してもらいたく、休日に工房を開放して、ワークショップを行っています。陶芸や和紙、染色などに興味を持っていただけるよう、これからも行っていきます。



### 桑刈り

今年、十二月には、和紙制作に必要な、桑を収穫する「桑刈り」を予定しています。毎年、たくさんの方々にご協力いただきながら行っており、今年も楽しく安全に行えるよう、準備をしていきます。

(主任 島田健史)

ワークショップは、盛況で、子供から大人まで、さまざまな方に楽しんでいただけたと思います。紙の原料となる桑の皮を皮むき器で剥き、石の板の上に置いて、木槌を使って叩くという、昔ながらの方法で作りました。叩いている時間は十五分程度、やり始めは苦勞していましたが、

## グループホーム

「やまなみ」の紹介  
成人部施設長 山本以文

平成二十七年九月、青梅市二俣尾三丁目「やまなみ」（定員七名）を開所しました。障害があっても自立して地域で暮らすことが叶う一軒の家の始まりです。各室の窓からは、愛宕山や雷電山など美しい山々が見わたせ、そこから「やまなみ」の名前が生まれました。

同所は、JR二俣尾駅下車徒歩六分、青梅街道沿いで二軒隣はコンビニ、通りに面してJA二俣尾支店があります。周囲には喫茶店や美容院、診療所や歯科医院などもあり、日常生活上いろいろと便利な場所でもあります。

入居者は、平日は二俣尾駅から、青梅福祉作業所や青梅市自立センターに通所しています。

### 小説の舞台にもなった二俣尾駅

二俣尾駅は、平日は地元の方たちが使う静かな駅ですが、休日は吉川英治記念館の見学者や高水三山への登山客などの乗降客が多く見られます。村上春樹のベストセラー長編小説『1084』で、主人公が二俣尾駅で降りる際の様子や周辺の状況を記述されています。

開所式は、地元の皆様や自治会長、青梅市の障害福祉課長、入居者や家族など四十名の方たちが参加して地域の温もりを実感できる集まりとなりました。

## バリアフリーと太陽光発電

建物は、木造二階建てで、設備やシステムが障害者対応のバリアフリーとなっています。東京都の障害者通所施設等整備補助の対象で、建築費は総額約六三〇〇万円。太陽光発電、LED、エコ家電、高断熱壁など省エネルギーの技術の粋を集めています。

世話人には近隣に住んでいる経験豊かな方を採用し、宿直勤務体制をとり、なおかつ地域支援の専門スタッフが支援にも入る厚い層を築くことで、開所後も安定的な支援を提供しています。入居者の休日は、自宅に帰宅する方、ガイドヘルパーをつかってイベントに出かける方、スタッフと買い物に出かける方とそれぞれです。

### 支援力は「やまなみ」の原点

家族及び入居者個々を支える世話人、スタッフの支援力はやまなみの原点です。傍らに付き添い、相手を思いやる姿勢を大切にしています。「スタッフの作る手作りの食事がとてもおいしい」との入居者の声もあり、とてもうれしく思っています。

今後とも、障害者の地域生活に取り組む法人の事業が、地域と人をつなぎ、利用者日々の暮らしを支えることで、わたしたちの理念も引き継がれていくものと考えています。

## 「グループホームの軌跡と展望」

法人本部事務局長 菅井敏文

障害者のグループホーム（以下「GH」とします。）は、平成元年、厚生省児童家庭局通知によって法定化されました。その前年には、知的障害者自活訓練事業が制度化され、入所施設利用者の地域移行もセットにされ、障害者の地域生活の流れが加速することになりました。

背景には、ノーマライゼーションの考え方が一方で、その後の社会福祉基礎構造改革につながる民間活力の活用、即ち、財源の省資源化がありました。

### 全国に広がるGH

平成二十六年の国資料によれば、現在、GHは、全国で約八千三百か所、約八万人八千人の利用があるとなっています。

このうち東京都のGH入居者数は、平成二十六年度末で約七千四百人で着実に増えてきています。計画では平成二十九年までにさらに二千人増やすとなっています。

事業所の側は、ノーマライゼーションの理念で、行政の側は、理念を援用しつつ財源の省資源化のために、縄のように縊り合わさって進んできていくのが現状と言えますが、確実にGHの数も、入居者数も増えてきています。

### 東京都の取り組み

東京都の場合には、設置に係る工事費に上限二千四百万円まで補助金がでます。新規設置の場合には、備品購入の補助金もあります。さらに国の報酬に加えて、都独自の

報酬加算があります。この点は、事業者にとっては、安定して取り組める大きなポイントになっているところだと思います。

障害者自立支援法施行の頃、他県では、報酬が低すぎてGH運営ができないという声が上がりましたが、東京では上がりませんでした。また入居者にとっては、家賃補助があります。国加算と合わせて、上限毎月二万四千円が支給されます。今後GH整備が進む中で、これらがどうなっていくのか、注視していかなければならないところです。

### 開設困難な条件

GHは、既存の建物を使って転用することも可能ですが、入居される方によつては制約も出ますし、生活に合った改修を施すことも必要になります。地域の方の理解も前提となります。最近、消防法の改正によりスプリンクラーの設置が進んできていますし、二階建て以上であれば、エレベーターの設置を建築上の指導として求められることもあります。

これに加えて、都内では、工事コストも家賃も高くなります。欠員が生じれば事業への影響は大きくなります。世話人さんの確保も課題になりますし、人件費もある程度高く見積らなくてはならなくなります。経費的などころでは、GHの設置も簡単ではありません。

しかし、現実的にGHは、これからも増えることになるでしょう。国は、平成二十六年度末には、身体・知的・精神合せて九万八千人を見込んでいました。

〔次ページへつづく〕

## 相談支援事業所 おおぞら

計画相談の主な役割は、本人の希望する生活を実現するために就労系サービスや居宅系サービス、施設入所等の障害福祉サービスを利用する際に、①サービス利用支援(サービス等利用計画案の作成)と一定期間を経てサービスの利用状況を確認し、本人の希望する生活に近づいているかを確認する②継続サービス利用支援(モニタリング)が主な役割です。

今年三月時点で、青梅市のサービス等利用計画作成の必要な方の八割は作成済みと言われています。他の自治体と比べて、比較的作成は進んでいます。市内に相談支援事業所が十月時点で十三事業所あり、近隣に比べて事業所数の多さも関係しているでしょうか。それぞれの事業所には特徴があるので、ご自分に合った事業所を選んで作成してもらおうのが良いと思われます。

最近、「おおぞら」で扱っているケースでは、広汎性発達障害(自閉症スペクトラム)の生徒が増えていきます。ご家庭で障害特性に合った対応をすることが難しいこともあり、生活等に見通しが持てず不安になったり、暴力的になったりすることがあります。広汎性発達障害の程度が比較

的で重く、学校や専門の医療機関で会議を持つなど難しいケースも見られます。また、市内の特別支援学級(情緒障害児学級)の在籍児童は増加しています。

「おおぞら」では、平成二十年頃から、行政や医療等の関係機関から依頼もあり、計画相談を切り口として独居を中心とした生活困窮者が地域社会の中で生き生きと暮らしているように様々な支援に取り組んでいます。サービス等利用計画を作ったサービス提供者に情報提供するだけでなく、もっと踏み込んだ支援が必要な場合には、適宜対応しています。通常の計画相談と比べ、横だし上乗せの対応と言えます。

この取り組みが、東京都社会福祉協議会のホームページの「地域のニーズにこたえる」社会福祉法人による取り組み」に掲載されました。「障害のある人が安心して暮らすことができ、希望に満ちた生活ができるように愛と信頼と行動で支援すること」という友愛学園の理念に基づいた取り組みであり、障害者の生活全般を支える支援に特化して長年取り組んできた友愛学園だからこそできる地域での生活を支えるための貢献の一つだと結んでいます。

(成人部副施設長 尾澤栄子)

## 青梅市 障害者就労支援センター

### 「関係機関との連携について」

当センターは、様々な関係機関と連携を取りながら事業を進めております。

今回は、青梅市、ハローワーク青梅、青梅市商工会議所等と連携し、青梅市内の企業様に対して、障害者への理解と雇用促進についての取組みを紹介させていただきます。

当センターでは青梅市から依頼を受け、毎月、青梅市商工会議所が発行する「Newsおうめ」に障害者の雇用に関する記事を平成二十五年四月から連載しています。

障害者雇用の事例や制度等を載せてきましたが、三年目に入る今年度は内容を一新し、一般就労している方のコメントや障害者雇用を先進的に進めている企業様から、障害者の方が働いている部署や業務内容等の実際を紹介しています。内容につきましては、ホームページから閲覧できますので、ぜひご覧ください。

(<http://www.omecci.jp>)



また、平成二十五年度から、青梅市、ハローワーク、商工会議所等と連携し、企業向けの「障害者理解推進学会」を開催しています。特別支援学校や福祉施設の取組みを見学すると共に、障害者雇用の現状や制度等のセミナーを行っています。

今年度は、「羽村特別支援学校」で就労に向けた訓練を見学した後、市内の「日立アプライアンス(株)」を訪問しました。そこで、障害者雇用の取組みについての説明を受けた後に、実際の就労現場を見学させていただきました。

また、十一月十日に実施された第二回見学会には、地元企業八社が参加し、「青峰学園」と「(株)日野ロジスパック」を見学いたしました。当センターでは、地元青梅市で就職できる方がひとりでも増えるよう、企業様の雇用促進と理解を深めるために今後も各期間との連携を深めていきたいと考えております。

(副主任 橋本文恵)

## はあとびあ原宿

### 「はあとびあ原宿の音楽ボラ」

はあとびあ原宿には、毎週日曜日の午後、音楽ボランティアが来所されるようになり、早四年が過ぎました。今回は、その若くて、ステキな、元気ハツラツの音楽ボランティアを紹介いたします。



キーボードで弾き語り

もともとは、歌う場所を探していた時に、はあとびあ原宿に知り合いがいたということから始まったものです。音楽ボランティアのメンバーは四年間の間に入れ替わりがあり、また、日によって来所するメンバーや人数が変わりますが、それでも、毎週来所して、歌に踊りに、弾き語りにご利用者の皆さんを楽しませてくださって

います。

音楽ボランティアをしてくださっているメンバーからも、『自分たちも楽しんでいて、利用者さんとの交流から、元気をもらえるので、はあとびあに行くのが楽しみです。』『最初は戸惑ったけど、関わっていく中で利用者さんの素直さや心からの笑顔に癒されています。』と嬉しい言葉をいただいています。



ダンス・ダンス・ダンス!!

忙しい中、雨の日も、暑い日も、寒い日も、風の日もはあとびあ原宿に来所していただき、ステキな笑顔と歌と踊りで、利用者の方々を楽しませてくださるステキな音楽ボランティアの皆さん、利用者も皆さんが来所するのを毎週楽しみにしています。これからもよろしく願います。

(副所長 渡部光行)

## 青梅福祉作業所

### 地元の製品に誇り

当作業所で多くの方が参加している作業種に「製函(せいかん)」箱づくりがあります。高級パウンドケーキの箱、お茶の箱、せんべいの箱、ギフト用の箱などさまざまな種類、さまざまな大きさの箱が毎日のように作業机に山積みになっています。ベテランの人は手元を見ずともサツサと折り進めています。

取引させていただいている企業様も複数となっていて、その中に「つつじや」で有名な東洋米菓株式会社もあります。定番商品の手焼きせんべいや青梅せんべいの箱、ぬれせんべいの紙袋などなど、いくつもの種類の箱などをつくっています。

その中で奥多摩町商工会や観光協会、野菜料理研究家、菓子製造会社などが一堂に集まり、検討とテストを重ねてできあがった奥多摩の新名物「奥多摩さんぼわさびチーズタルト」というお菓子の箱があります。ブラックとオレンジ、鮮やかなグリーンの色が映えて、箱を観るだけでも「おいしい」が伝わってくるようです。販売は奥多摩町や青梅の観光地



と「つつじや」さんだけの限定販売です。

当作業所では、箱づくりから製品の箱詰めもさせていただいています。ひとつひとつを丁寧に、この新名物、銘菓を手にお客様にまごころが伝わるようにと作業に励んでいます。

当作業所に通ってきている皆さんも、この新名物誕生に込められたさまざまな方たちの思いがこもった箱を作ることに喜びを感じているようです。

地元の観光や銘菓に製函作業を通じて関わっているとすることは、障害のある方たちにとって社会参加の実感を強くもたせてくれるものです。

地元の仕事をくださる企業様には本当に感謝しています。ありがとうございます。

皆さまも青梅・奥多摩観光でお立ち寄りの際は、ぜひ「奥多摩さんぼわさびチーズタルト」をお手にとってください。

(所長 福田和弘)

## ◆平成二十七年 度 実践報告会



九月二十九日、友愛学園成人部作業棟二階にて、平成二十七年 度法人実践報告会が行われました。今年度は、法人三事業所からの報告がありました。はあとびあ原宿より、「支援とは何か？この十年を振り返って」というテーマで勤続十年に達し職員として児童施設と成人施設経験した中で取り組んだことや感じた事を報告。「とことこ」は、「放課後等デイサービス事業所」とことから「事業開始三年間の活動」を報告。成人部の生活介護事業から「アートプロジェクトⅡ社会との共生」というテーマで、地域社会



に向けた活動とそこで創作する障害のある方々の喜びや大切さが発表されました。開催の目的が、各事業所の業務理解や職員技術の発見、向上を図ることである通り、参加した他事業所の職員も同じ法人の中でありながら、なかなか触れることのない他事業所

の取り組みや実践報告に興味深く真剣に耳を傾ける姿が見られました。

### ◆人事考課に関わる考課者研修

人事給与制度の変更により、人事考課制度が導入されることに伴う考課者への研修が継続的に行われていまして。七月と十一月に青梅地区とはあとびあ原宿でそれぞれ考課者を対象とした研修が行われ、被考課者に対する面接技法やフレッシュアップシートという考課表の記入方法などを研修しました。

人事考課制度については、今年度は制度の試行段階として、このような研修を交えながら、実際に現場で職員個々の目標設定や面接を行っていただきます。そして今後、職員の育成を主眼とした考課を実施していくこととなります。

### ◆理事会・評議員会の開催

理事会・評議員会が十月二十四日（土）午後から友愛学園成人部作業棟二階で開催されました。

二十七年 度の第一次補正予算、新グループホーム設置に伴う定款の変更、虐待防止規程の制定、青梅福祉作業所運営規程の改正、グループホーム運営規程の改正、パワーハラスメント防止規定及びマタニティハラスメント防止規程の制定の六件の議案が審議に付され、いずれの議案についても質疑応答の後、満場一致で議決されました。八月二十二日（土）には、例年恒例となっている法人行事盆踊りが青梅



市成木の法人園庭で行われました。準備段階では曇り空が続き当日の天候も心配されましたが利用者の皆さんの願いも通じたのか無事に行うことができました。

友愛学園の盆踊りは、自治会主催や近隣他施設をはじめとする成木地区での盆踊り大会としては、夏の締めくくりとなる最後の開催場所となっております。その為、地域の方々などのご参加も多数あり、大変賑わった一夜となりました。



### 【訂正のお詫び】

二十三号寄付者ご芳名の欄で「故下田幸一」様となっておりますが、正しくは「下田幸一」様です。大変申し訳ございませんでした。

## 後援会へのご加入案内

当法人では後援会にご加入いただける方を募っています。ご協力くださる方は左記までお問い合わせください。詳しいご案内をさせていただきます。

- 目的** 友愛学園の事業を後援すること
- 会費** 一口 千円
- 連絡先** 友愛学園 後援会事務局
- 電話** 〇四二八（七四）五四五三
- FAX** 〇四二八（七四）六九〇六

### 編集後記

「宿命に生き、運命に挑み、使命に燃ゆ」故小淵恵三元首相の言葉だそう。各界の著名人が引用しているのですが、平凡な人生を送っている者にとっては重い言葉です。

そもそも何のために自分が生かされているのか、運命という大きな事柄に挑んだことがあるか、もしくは挑んだつもりで早々と敗北してはいないか、使命に燃えるどころか、逃げてはいないか・・・そんなところでしょうか。

障害のある人たちの地域での生活を守るためという使命に燃えてきたつもりでしたが、何をやりきってきたのでしょうか。

昔は福祉制度も整っておらず、手弁当的な活動も少なくなりましたが、今は整ってきている分、若い頃から感じていた「使命」らしきものがかすんできているようです。

でも、今までにない困難事例も増えていきます。住むところは？日中通るところは？キーパーソンは？など課題が重く、かすみかけた使命が鮮明になってくる感です。